

- このニュースは、毎月1回、以下の通り配信されています。
 - ◎ 各都道府県石油組合および北海道・各地方石油組合宛
 - ◎ 共同事業部会各委員および農林漁業部会各委員

- 全石連ホームページに「共同事業Gニュース」を常時掲載しています。
いつでもカラーで、過去号から最新号まで、ご覧いただけます。
 - ※ 「全石連」で検索⇒「石油広場 全石連ホームページ」⇒
「組合員の皆様へ」⇒「組合員情報」⇒「共同事業Gニュース」
 - ※ アドレスは <http://www.zensekiren.or.jp/> です。

- 主な内容は（お役立ち情報満載！）
 - ① 購買事業の「新商品紹介」、主力商品の基礎知識
 - ② 中型生命等の販売成功例、自家共済、保険の紹介と基礎知識
 - ③ 各種お知らせ
 - ④ 農林漁業A重油制度解説～事務手続きのポイント等 などです。

（目次）

- 1. 秋期キャンペーンと目標達成のお願い
- 2. お知らせ
 - (1) 中型生命グループ保険 キャンペーンの方針について
 - (2) SS総合の賠償交渉相談サービスの利用をお勧めください
 - (3) 防犯カメラの問い合わせが増えています ～レコーダー単体でも斡旋可能です～
 - (4) デジタルトルクアダプターの適合サイズについて

- 農林漁業コーナー（お知らせ）

1. 秋期キャンペーンと目標達成のお願い

9月から、恒例の秋期キャンペーンがスタートします。洗車タオル・既製ロール紙・リサイクルトナーは、キャンペーン期間限定の特別価格をご提供いたしますので是非ご利用下さい。年間売上の約4～5割をこの期間に販売している組合さんが多数あります。年間目標の達成のためにも宜しくお願いいたします。

また、中型生命の加入推進も、洗車タオル・給油伝票類の販売と併せてお薦めすることで、目標達成されている組合さんが多くあります。是非、一人でも多くの組合員さんが加入されるよう、お声がけ宜しくお願いいたします。

○ キャンペーン期間と対象

	キャンペーン期間	対象商品等
資材部門 ※	24年9月3日～11月30日 3ヶ月	洗車タオル、既製ロール紙 リサイクルトナーカートリッジ
中型生命部門	24年9月3日～12月25日 4ヶ月	新規加入15人以上/各組合

※ 各組合のキャンペーン目標値詳細については、全石連事務連絡でお知らせしています。資材部門は特別価格で提供する上記対象商品以外に封筒、手書伝票、POS伝票、贈答用タオルもキャンペーン実績にカウントいたします。

2. お知らせ

(1) 中型生命グループ保険 キャンペーンの方針について

例年実施しています中型生命グループ保険のキャンペーン目標は、24年度は新規加入15名に設定しています。(年間目標は40名です。)

中型生命の加入者は組合各位のご尽力で新規加入を持ってしても脱退者が上回る厳しい状況が続き、24年8月1時点の加入者はとうとう9千人を下回り8,800人となっています。現在、中型生命に加入している組合員さんは全国で約2,000社ですが、その内容を見ると、1企業3名以下の加入が1,512社となっています。

今回のキャンペーンに際しては、新規加入企業の獲得はもちろんですが、既存加入企業における加入者の追加にも取り組んでいただきたいと思います。

第一生命では、この秋のキャンペーンに際して、都道府県にある支社を使って既加入事業所を訪問して制度のPRと加入者の拡大に取り組む計画を企画しています。詳細が決まり次第、文書にてご連絡いたします。

(2) SS総合の賠償交渉相談サービスの利用をお勧めください

組合の事務局において、SS総合共済の加入者(組合員)から、SSで壊したり傷つけてしまったお客様の車の賠償内容について、相談のお電話を受けることがあります。こうした相談の電話を受けた時には、まずは「賠償交渉相談サービス」の利用をお勧めください。

賠償交渉を組合員さんに代わって進めることはいたしません、納得のいく交渉を進めるために参考になるアドバイスを受けることができます。車を壊してしまったという負い

目から相手の要求をそのまま受け入れ、払う必要のないと思われる費用まで負担されているケースがあります。交渉が難航して本サービスで提携している弁護士に賠償交渉を依頼する場合の費用の目安は約10万円となっています。

妥当性を欠く高額な賠償金を請求されている場合は、相談サービス指定の弁護士に賠償交渉を依頼することで結果的に妥当な金額・内容で示談を結ぶことが期待できます。

(3) 防犯カメラの問い合わせが増えています ～レコーダー単体でも斡旋可能です～

SSを狙った盗難事件が頻発し、防犯意識が高まっていることもあり、当グループが扱っている防犯カメラに関する問い合わせが急増しています。

また、レコーダーに関し、初期のビデオテープ型をご使用のSSやハードディスクの劣化により書き込みできなくなったSSから、デジタルビデオレコーダーのみで購入できないかとの相談も数多く受けています。

このような要望に対し、当グループではレコーダー単体の斡旋も承っており、価格は4カメラ対応・容量500GB・USBメモリー対応の標準タイプで85,000円（税別・送料別・工事費別）でご提供しております。他にも8カメラ対応・DVD-RWドライブ付のタイプもございますので、組合員さんからレコーダー単体購入のご相談があった場合は現在の設置状況（カメラ・レコーダーのメーカー名、年式、台数など）をお知らせいただければ、それに対応する商品をご提案いたしますので、遠慮なくお申し付け下さい。

デジタルビデオレコーダーは、内臓ハードディスクに画像を記録（上記の標準タイプで3週間～2ヶ月間分）しますので、テープのように何度も巻き戻すなどの煩わしさはなく、指定した日時画像をダイレクトに呼び出すことができます。また、インターネットを介してパソコン（ウィンドウズOS）やスマートフォンからライブ画像及び再生画像を遠隔監視することもできますので、警察等への早期通報により被害の拡大を防ぐことにもつながります（別途、固定IPアドレス取得及びルーター等機器が必要）。

SSの防犯対策として、防犯カメラを設置することによって狙われにくいSSづくりを検討されてはいかがでしょうか。

(4) デジタルトルクアダプターの適合サイズについて

新商品のデジタルトルクアダプターは、SSで普段使われているラチェットなどの既存



工具に接続して、使用できることから経済効率性の高い商品となっています。アダプターに適正トルク値（ねじりの強さ）を入力してボルト締め付けを行えば、設定トルクに近づくと音と光で知らせてくれるため、ホイールなどでは締めすぎによるネジの破損や締め込み不足によるガタツキを防ぐことができます。

アダプターは既存工具の用途・サイズに応じて次の3種類を用意しています。

①差込角 1 / 4 インチ (6 . 3 5 mm)

主としてオートバイの整備用。他、エンジンルームの電装部分やプラスチックビスなど小さめのトルクを要する箇所に使用。計測トルク範囲：6～30N・m(ニュートンメートル)

②差込角 3 / 8 インチ (9 . 5 mm)

主として乗用車の整備用。ホイールその他、オールドレンボルト、エンジンを支えるボルトなど普通のトルクを要する箇所に使用。計測トルク範囲：27～135N・m

③差込角 1 / 2 インチ (1 2 . 7 mm)

主として2 tトラックの整備用。ホイールやエンジンルーム内の大きなトルクを要する箇所に使用。計測トルク範囲：40～200N・m

このように工具・用途によって商品タイプが決まりますので、ご注文にあたりましては、写真のとおり使用中の工具差込角の幅を測っていただき、サイズにあったインチ数を注文書に明記して下さいますようお願いいたします。

○ 農林漁業コーナー

国A総括表に記載する元売名の再徹底について

先般、組合各位に文書（全石協事発24第68号「農林漁業用国産A重油の総括表記載元売名の再徹底について」）でご連絡済みの通り、元売会社から、「最近自社宛の総括表の中に他社の卸分が記載されることが散見される。そのため元売名の確認・徹底を行なってほしい。」との申し出がありました。

上記事例は二重還付につながることもあり、最悪の場合は脱税のそしりを受けることもありえます。

つきましては、ご多忙の中恐縮ですが登録業者に対し、総括表に記載する元売名の徹底等下記についてご指導・ご連絡をお願いいたします。

徹底・確認事項

- ・ 仕入先元売がはっきりしているものだけを総括表に記載
→業転分は総括表には記載しない
- ・ 総括表は元売ごとに別々に作成する
→名寄せは絶対にしない

~~A元売+B元売~~

→新たな元売からの仕入れがある場合は、**元売名を追加登録し新たに総括表を作成**

温対税の増税に伴う還付措置について

ご存知のように、この10月から石油石炭税が地球温暖化対策税として増税され、それに伴い、その温対税部分のみの新たな還付税度として、「農林漁業用軽油」と「内航船用燃油（軽油と重油）」が創設されました。

この還付制度では石油製品販売業者の皆様が該当の石油製品を販売している場合は販売者としてかかわることになりますので、従来の農林漁業用A重油の還付制度同様、組合員の皆様を始め都道府県石協のご協力をいただくこととなります。

本来であればこの時期には詳細をお伝えしなければいけないのですが、まだスキームについて決まりきっていない箇所があります。そのためまだ詳細はお伝えできず、皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、今後詳細が固まり次第、スキームや手続きについてもご連絡をしていきたいと思っております。

何卒よろしくお願いいたします。